

かん
スチール缶は
しげん
資源リサイクルセンター
で風力を利用して
せんべつ
選別しているのよ。



こたえ



「くらしとごみ」11ページの
☒を見て考えてみましょう。



ここが
ポイント！



しゅうしゅう かん
収集された缶・びん・ペットボトル

いぶつ
異物を手でとりのぞきます



いぶつ
異物を手で取りのぞく作業



かん
スチール缶は大きな
じしやく
磁石で集めます

風力で重いびんと軽いアルミ缶・ペットボトルに分けます

かん
スチール缶



びん



かん
アルミ缶とペットボトル

きかい
機械でアルミ缶と
ペットボトルに分けます

こたえは
じしやく
磁石！
ざいしつ
材質の特徴を
とくちょう
生かしている
のですね！



じしやく
大きな磁石でスチール
かん
缶を集める機械

色ごとに
分けます

かん
アルミ缶

かん
ペットボトル



リサイクル工場へ運びます



「くらしとごみ」には、むずかしくて載せなかったけれども、「アルミ缶」と「ペットボトル」は、電気と磁石の力を合わせて使って分けています。この技術は、IH調理器や電車のブレーキにも使われているんですよ。

ちょっと
むずかしい
はなし



かいせつ
するよ！



まちがえちゃった人、3年生で学習した磁石を思い出してね。スチール缶は磁石にくっつくので、大きな磁石で集めます。そのあと、そのほかの重いびんと、軽いアルミ缶やペットボトルとは、風力で分けます。それぞれの材質や重さなどをうまく利用して、分けているんですよ。